

旭川ものづくり博覧会 開催結果

平成 24 年 9 月 14 日(金)～16 日(日)、旭川地場産センターにて開催した、旭川ものづくり博覧会の開催結果報告を下記に記載しておりますのでご参照ください。

【趣 旨】

旭川のものづくりは地域産業を支える農業機械、全国有数のブランドを誇る「旭川家具」、優れた北方型住宅など地域特性にマッチした企業群が形成されている。一方で情報発信力に乏しく自社の技術を PR する機会に恵まれず、ビジネスに結びついてない企業も多い。こういった現状を踏まえ金融機関や中小企業の支援機関などと連携し、道内外のバイヤーを招聘、マッチング、商談会を実施することにより個々の企業の販路を飛躍的に拡大し、旭川におけるものづくり産業の振興を図る。

また、旭川市民へはこの博覧会を機に旭川のものづくり産業について知識を深めてもらうとともに、市外の方に旭川のものづくりに関する簡単な PR・話題提供ができるまでの知識を身に付けてもらう。小中学生に関してはものづくり体験を通してものづくりの楽しさを、高校生・大学生については就職先としての企業情報を提供することにより、地元での就職促進を目指す。

【会 期】平成 24 年 9 月 14 日(金)10:00～17:00[ビジネスマッチング]

9 月 15 日(土)10:00～17:00[一般公開]

9 月 16 日(日)10:00～16:00[一般公開]

【場 所】旭川地場産業振興センター

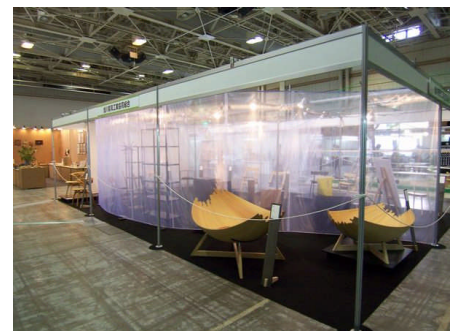
【入場料】無 料

【来場者数】25,100 名[14 日(600 名)／15 日(9,500 名)／16 日(15,000 名)]

【主 催】旭川ものづくり博覧会実行委員会

[構成:旭川商工会議所/旭川市/業種組合・関係団体/試験研究・教育機関/(株)北洋銀行]

【後 援】経済産業省北海道経済産業局／旭川信用金庫／北海道上川総合振興局／読売新聞旭川支局／北海道教育庁上川教育局朝日新聞旭川支局／旭川市教育委員会／毎日新聞旭川支局／(公財)北海道中小企業総合支援センター／日本経済新聞旭川支局／(一財)旭川産業創造プラザ／北海道新聞旭川支社／(社)北海道機械工業会／あさひかわ新聞／(地独)北海道立総合研究機構北方建築総合研究所／(株)ライナーネットワーク／(地独)北海道立総合研究機構林産試験場／NHK 旭川放送局／(地独)北海道立総合研究機構上川農業試験場／HBC 旭川放送局／北海道道立旭川高等技術専門学院／STV 旭川放送局／旭川職業能力開発促進センター／HTB 旭川支社／旭川工業高等専門学校／UHB／旭川工業高等学校／TVh／旭川実業高等学校／旭川ケーブルテレビ(株)／旭川明成高等学校／(株)旭川シティネットワーク FMリバー／(株)北海道銀行



【出展企業】 小間数：68 小間 出展企業数：98 社

◆機械・金属[20 小間／46 社・団体]

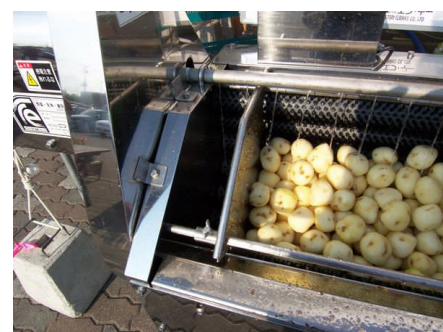
旭川機械金属工業振興会／旭川鉄工組合／旭川総合鉄工団地
(協)／北海道機械工業会旭川支部／北海道機械工業会鉄骨部会
旭川支部／旭川鑄造工業会／旭川型枠工業会／旭川溶接協会／
旭川鉄工青年会／旭川機械工業(株)／(株)アルプロ／(株)イシ
カワ／臼井鑄鉄工業(株)／(有)エス・ケーテクニカ／(株)エ
フ・イー／(株)大池鉄工場／(株)オノデラ／(株)表鉄工所／
(株)河野鐵工所／協和工業(株)／(株)ケンリツ／(株)小林機械
鉄工／媚山鉄工(株)／三栄機械(株)／(株)三和機械／世良鉄工
(株)／(有)外崎工作所／道北機械(株)／日成工機(株)／(株)長
谷川工作所／(株)檜山鐵工所／(株)ヒロシ工業／(株)藤兼商店
／松田鉄工(株)／(株)三由農機製作所／(有)武蔵鑄造所／(有)
村井鉄工所／吉峰鉄工(株)／渡辺農機(株)／旭川工業団地(協)
／(株)片桐紙器／北日本機械(株)／(株)ノーザン／ミヤ工業
(株)／レンゴー(株)／正和電工(株)

◆建築・木工[20 小間／19 社・団体]

旭川家具工業(協)／旭川クラフト協議会／ABO 窯／工房灯のた
ね／(株)ササキ工芸／淳工房／染あとりえ草創／to・mo・ni／
(株)ドリーミーパーソン／(一社)旭川建設業協会／荒井建設
(株)／(株)只石組／花本建設(株)／(一社)旭川建築協会／北海
道上川総合振興局／大丸建設(株)／(株)大丸白倉商店／(株)ダ
ンネツ／日新テクノ S.A. (株)

◆IT・印刷・エネルギー・その他[28 小間／33 社・団体]

旭川印刷製本工業(協)／(株)あいわプリント／(株)井田印刷工
房／植平印刷(株)／(株)総北海／旭川情報産業事業(協)／(株)
アスタリスク／(株)富貴堂ユーザック／旭川地方技能士会／旭
川ものづくり総合支援センター／旭川 I C T協議会／旭川食品
加工協議会／(有)エー・アイ・エス／コアルシード(株)／グリー
ンテックス(株)／(株)コスモメカニクス／(有)きし (studio
BACU)／やさしい森／旭川信用金庫／(株)インテリアナス／
(株)水野染工場／(有)ミューロン／旭川発明協会／旭川ガス
(株)／旭川地場産業振興センター／HJK(株)／ダットジャパン
(株)／(株)コンピューター・ビジネス／東芝ホクト電子(株)／
ノース物産(株)／医療法人社団慶友会吉田病院／特定非営利活
動法人カムイ大雪バリアフリー研究所／旭川障害者文化スポー
ツ振興支援会



旭川ものづくり博覧会 事業報告書

平成 24 年 10 月 29 日

旭川ものづくり博覧会実行委員会

◆ 開催概要

【 名 称 】 旭川ものづくり博覧会

【 趣 旨 】 旭川のものづくりは地域産業を支える農業機械、全国有数のブランドを誇る「旭川家具」、優れた北方型住宅など地域特性にマッチした企業群が形成されている。一方で情報発信力に乏しく自社の技術をPRする機会に恵まれず、ビジネスに結びついてない企業も多い。こういった現状を踏まえ金融機関や中小企業の支援機関などと連携し、道内外のパイヤーを招聘、マッチング、商談会を実施することにより個々の企業の販路を飛躍的に拡大し、旭川におけるものづくり産業の振興を図る。

また、旭川市民へはこの博覧会を機に旭川のものづくり産業について知識を深めてもらうとともに、市外の方に旭川のものづくりに関する簡単なPR・話題提供ができるまでの知識を身に付けてもらう。小中学生に関してはものづくり体験を通してものづくりの楽しさを、高校生・大学生については就職先としての企業情報を提供することにより、地元での就職促進を目指す。

【 会 期 】 平成24年9月14日(金) 10:00～17:00 [ビジネスマッチング]

9月15日(土) 10:00～17:00 [一般公開]

9月16日(日) 10:00～16:00 [一般公開]

【 会 場 】 旭川地場産業振興センター

【 入場料 】 無 料

【 来場者数 】 25,100 名 [14 日(600 名)／15 日(9,500 名)／16 日(15,000 名)]

【 主 催 】 旭川ものづくり博覧会実行委員会

[構成:旭川商工会議所/旭川市/業種組合・関係団体/試験研究・教育機関/(株)北洋銀行]

【 後 援 】 経済産業省北海道経済産業局

北海道上川総合振興局

北海道教育庁上川教育局

旭川市教育委員会

(公財)北海道中小企業総合支援センター

(一財)旭川産業創造プラザ

(社)北海道機械工業会

(地独)北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所

(地独)北海道立総合研究機構 林産試験場

(地独)北海道立総合研究機構 上川農業試験場

北海道道立旭川高等技術専門学院

旭川職業能力開発促進センター

旭川工業高等専門学校

旭川工業高等学校

旭川実業高等学校

旭川明成高等学校

(株)北海道銀行

旭川信用金庫

読売新聞旭川支局

朝日新聞旭川支局

毎日新聞旭川支局

日本経済新聞旭川支局

北海道新聞旭川支社

あさひかわ新聞

(株)ライナーネットワーク

NHK旭川放送局

HBC旭川放送局

STV旭川放送局

HTB旭川支社

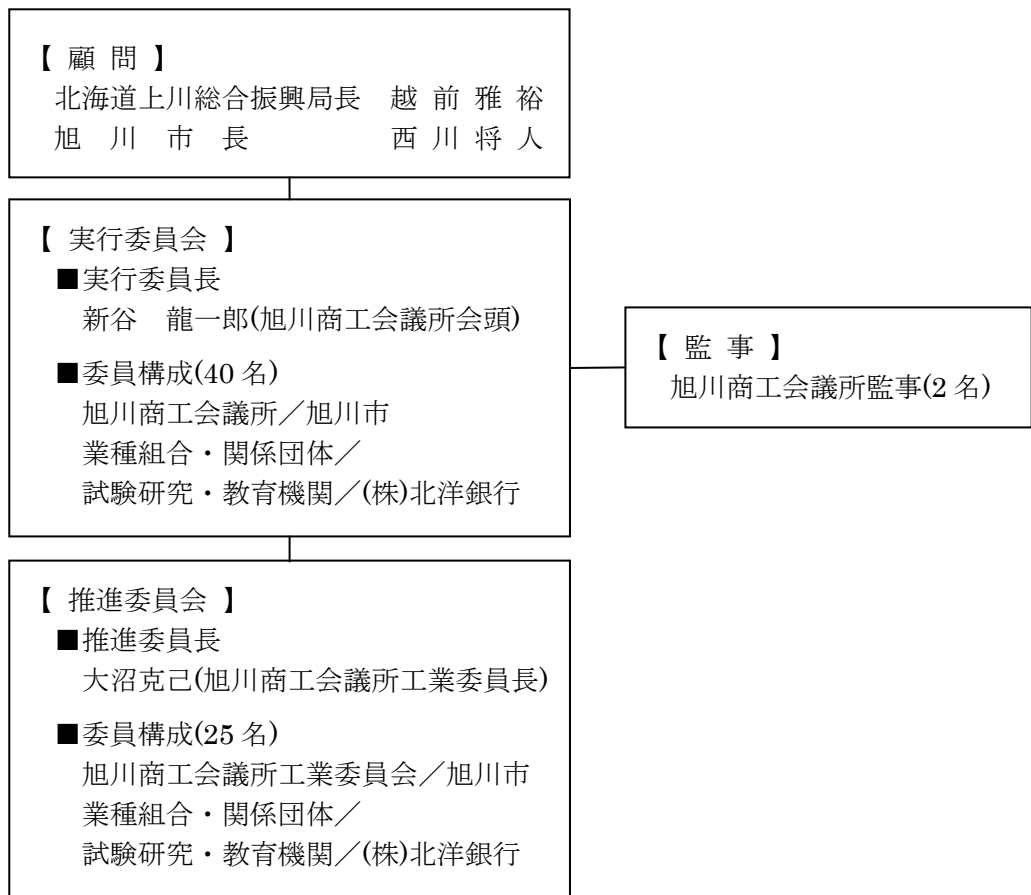
UHB

TVh

旭川ケーブルテレビ(株)

(株)旭川シティネットワークFMリバー

【 組織図 】



【出展企業】 小間数：68 小間 出展企業数：98 社

◆機械・金属[20 小間／46 社・団体]

旭川機械金属工業振興会／旭川鉄工組合／旭川総合鉄工団地(協)／北海道機械工業会旭川支部
北海道機械工業会鉄骨部旭川支部／旭川鋳造工業会／旭川型枠工業会／旭川溶接協会／旭川鉄
工青年会／旭川機械工業(株)／(株)アルプロ／(株)イシカワ／臼井鋳鉄工業(株)／(有)エス・ケ
ーテクニカ／(株)エフ・イー／(株)大池鉄工場／(株)オノデラ／(株)表鉄工所／(株)河野鐵工所
協和工業(株)／(株)ケンリツ／(株)小林機械鉄工／媚山鉄工(株)／三栄機械(株)／(株)三和機械
世良鉄工(株)／(有)外崎工作所／道北機械(株)／日成工機(株)／(株)長谷川工作所／(株)檜山鐵
工所／(株)ヒロシ工業／(株)藤兼商店／松田鉄工(株)／(株)三由農機製作所／(有)武蔵鑄造所
(有)村井鉄工所／吉峰鉄工(株)／渡辺農機(株)／旭川工業団地(協)／(株)片桐紙器／北日本機
械(株)／(株)ノーザン／ミヤ工業(株)／レンゴー(株)／正和電工(株)

◆建築・木工[20 小間／19 社・団体]

旭川家具工業(協)／旭川クラフト協議会／ABO 窯／工房灯のたね／(株)ササキ工芸／淳工房／
染あとりえ草創／to・mo・ni／(株)ドリーミーパーソン／(一社)旭川建設業協会／荒井建設(株)
(株)只石組／花本建設(株)／(一社)旭川建築協会／北海道旭川総合振興局／大丸建設(株)／
(株)大丸白倉商店／(株)ダンネツ／日新テクノ S. A. (株)

◆IT・印刷・エネルギー・その他[28 小間／33 社・団体]

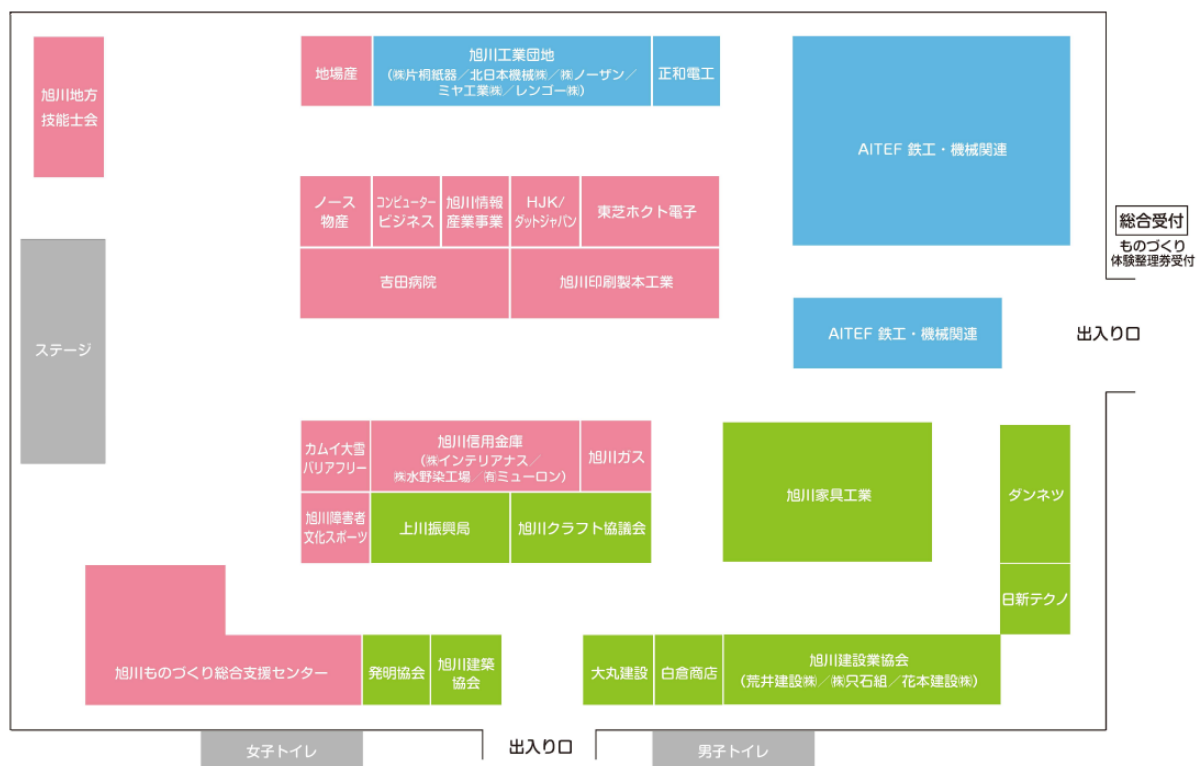
旭川印刷製本工業(協)／(株)あいわプリント／(株)井田印刷工房／植平印刷(株)／(株)総北海
／旭川情報産業事業(協)／(株)アスタリスク／(株)富貴堂ユーザック／旭川地方技能士会／旭川
ものづくり総合支援センター／旭川 I C T 協議会／旭川食品加工協議会／(有)エー・アイ・エス
／コアルシード(株)／グリーンテックス(株)／(株)コスモメカニクス／(有)きしだ (studio
BACU)／やさしい森／旭川信用金庫／(株)インテリアナス／(株)水野染工場／(有)ミューロン／
旭川発明協会／旭川ガス(株)／旭川地場産業振興センター／HJK(株)／ダットジャパン(株)／
(株)コンピューター・ビジネス／東芝ホクト電子(株)／ノース物産(株)／医療法人社団慶友会吉
田病院／特定非営利活動法人カムイ大雪バリアフリー研究所／旭川障害者文化スポーツ振興支援会

◆ 全体スケジュール

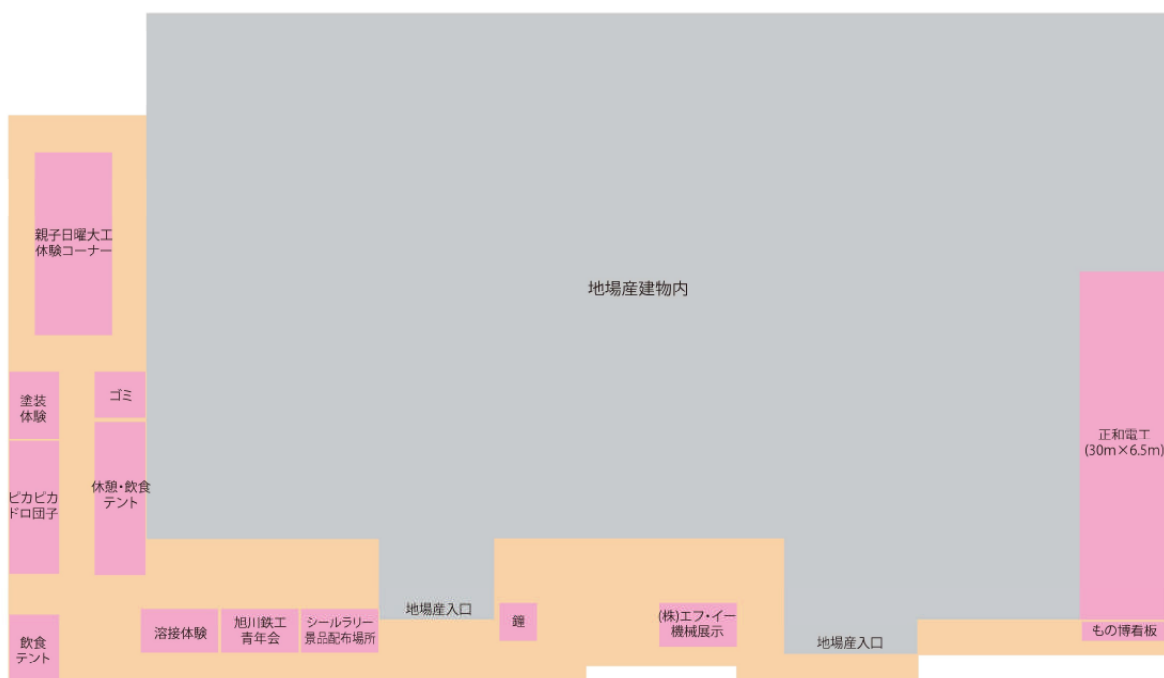
月	事業・委員会内容	
3月	23日	旭川ものづくり博覧会実行委員会設立総会〔出席者：35名〕 場所：旭川商工会議所 2F中ホール 1)旭川ものづくり博覧会実行委員会規約(案) 2)旭川ものづくり博覧会事業計画(案)並びに収支予算(案) 3)旭川ものづくり博覧会推進委員(案) 4)旭川ものづくり博覧会後援団体(案) 5)旭川ものづくり博覧会申込要領(案)・申込書(案)
5月	21日	第1回旭川ものづくり博覧会推進委員会〔出席者：22名〕 場所：旭川商工会議所 4F特別会議室 1)旭川ものづくり博覧会出展企業申込状況について 2)旭川ものづくり広報物について 3)旭川ものづくり博覧会イベント・ものづくり体験について 4)旭川ものづくり博覧会今後のスケジュールについて
6月	2～3日	買物公園40周年記念事業「miniもの博」 場所：買物公園6条
7月	13日	第2回旭川ものづくり博覧会推進委員会〔出席者：25名〕 場所：旭川商工会議所 4F特別会議室 1)旭川ものづくり博覧会屋内外小間レイアウトについて 2)旭川ものづくり博覧会広報物について 3)旭川ものづくり博覧会ビジネスマッチングについて 4)旭川ものづくり博覧会予算について
	19日	旭川ものづくり博覧会出展者説明会〔出席者：32名〕 場所：旭川商工会議所 2F中ホール 1)出展企業・団体及び屋内展示レイアウトについて 2)搬入・搬出のスケジュールについて 3)搬入出並びに会期中の注意事項について 4)各種申込書について
8月	7日	北洋銀行ものづくりテクノフェア 場所：札幌コンベンションセンター
9月	4日	第3回旭川ものづくり博覧会推進委員会〔出席者：23名〕 場所：旭川商工会議所 4F特別会議室 1)旭川ものづくり博覧会会期中のスケジュールについて 2)旭川ものづくり博覧会広報物について 3)旭川ものづくり博覧会ビジネスマッチングについて
	14日	旭川ものづくり博覧会・ビジネスマッチング〔来場者：600名〕 ※9:45 開会式
	15日	旭川ものづくり博覧会・一般公開〔来場者：9,500名〕
	16日	旭川ものづくり博覧会・一般公開〔来場者：15,000名〕 ※15:50 閉会式
10月	29日	第2回旭川ものづくり博覧会実行委員会 場所：旭川商工会議所 2F中ホール 1)旭川ものづくり博覧会事業報告並びに収支決算報告について 2)監査報告について

◆ 会場図

● 屋内会場図



● 屋外会場図



◆ 9 月 14 日(金)

● 開 会 式



9 時 45 分より、ステージにて主催者、後援団体、出展者など、約 80 名が出席し開会式を開催。冒頭、新谷実行委員長(本所会頭)より主催者挨拶、その後、来賓紹介、来賓代表として越前上川総合振興局長様、西川旭川市長様の代理で、板谷旭川市経済観光部ものづくり推進担当部長様よりご挨拶を賜った。

● ビジネスマッチング



- 1) 道内高専協力会(8 社)
道内高専の支援団体である協力会会員企業
来場企業：(株)メデック(函館)、(株)松本鐵工所(苫小牧)など

- 2) RING21(7 社)
北海道経済産業局関連の機械金属企業の交流団体
来場企業：佐藤鋳工(株)、北興化工機(株)など



- 3) 富山異業種団体(12 社)
富山テレビ関連の異業種団体で、北陸銀行旭川支店 100 周年に合わせて来旭
来場企業：初音工業(株)、北日本電機産業(株)など

- 4) 新日本製鐵(株)室蘭製鉄所
来場：工程業務部購買グループより 2 名

- 5) EMS-JP(IT 系企業団体)
来場企業：恵比寿システム(株)



- 6) 「環境・エネルギービジネスマッチング in 旭川」
主催：公益財団法人 北海道中小企業総合支援センター
10:30～15:00 2 階 研究開発室 2

- 7) 道内商工会議所関連
・ 富良野商工会議所(9/15・10 社)
・ テクノプラザ帯広(9/16・8 社)

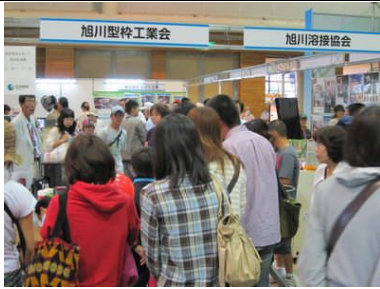
● 地元企業への就職促進事業



13 時 30 分、旭川工業高等専門学校 4 年生 160 名が来場。旭川工業高等専門学校産業技術振興会佐々木会長より、地元企業の実情及び地元企業への就職促進について講演。その後、1F ホールに移動し、出展企業のブースを見学。

◆ 9月15日(土)・16日(日)

●市民へのPR



各企業とも趣向を凝らした展示で市民へのPRを行った。来場者は2日間で約24,500名を数え、おおいに賑わいを見せた。特に商材がBtoC関連のブースでは、市民からの興味も高く直接商売に結び付くケースも見られた。

●ステージイベント・ものづくり体験



科学に係わるステージイベントや鉄、木工、食品など数多くのものづくり体験が行われ、目を輝かせた多くの子供たちで会場は埋め尽くされた。

協力：北海道上川総合振興局／(地独)北海道立総合研究機構林産試験場／北海道立旭川高等技術専門学院／旭川職業能力開発促進センター／旭川ものづくり総合支援センター／旭川食品産業支援センター／旭川工業高等専門学校／旭川工業高等学校／旭川農業高等学校／旭川実業高等学校／旭川明成高等学校／(一社)旭川建築協会／旭川鉄工青年会／サイエンスボランティア旭川／北海道旭川地方技能士会／臼井鋳鉄工業(株)／(株)梅屋／医療法人社団慶友会吉田病院／パッションウェーブジュニア／原部剛

また、食べマルシェとの連携イベントとして、あさっぴーシールラリーを開催。これは、5つに分割されたあさっぴーのシールを両会場で集め、集めたシールを専用の台紙に張り、あさっぴーを完成させると、本博覧会が正式デビューとなる「あさっぴー焼」がもらえるイベント。両会場を行き来しなければならないハードルの高いイベントではあったが、2日間合わせて600名を超える完走者が出た。また、型枠の設計・鋳造、据付などすべて旭川の機械金属業界で作成

●閉会式



16日(日)の15時50分より、閉会式が執り行われた。

閉会式では大沼推進委員長(本所工業委員長)より、来場者及び出展者に対して盛会裏に終了したお礼が申し述べられ、3日間の会期に幕を閉じた。

◆ 広報物



● ホームページ

公開日：2012 年 6 月 25 日



● 企業招聘用パンフ

サイズ：A5 版・24P

部 数：5,000 部

配布先：道内外企業、全国商工会議所、北洋銀行テクノフェアなど

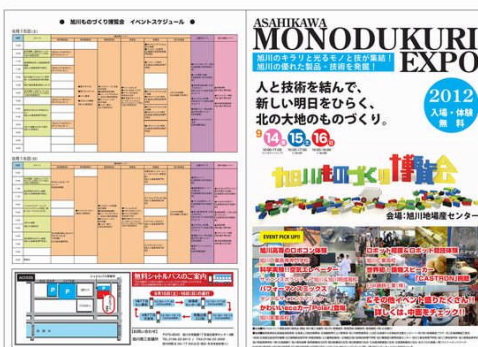


● 事前PR用パンフ

サイズ：A4 版二つ折り

部 数：30,000 部

配布先：旭川市内及び近郊町村の小学校、旭川市内公共施設



● 当日配布用パンフ

サイズ：A4 版二つ折り

部 数：20,000 部

配布先：当日来場者



●北海道新聞ななかまど

掲載日：平成 24 年 9 月 7 日(金)

サイズ：TOP ページ全面

記事掲載(7 段・写真左上)

広告掲載(5 段・写真左下)



●あさひかわ新聞

掲載日：平成 24 年 9 月 11 日(火)

サイズ：全 4 段

記事掲載(2 段・写真左上)

広告掲載(2 段・写真左下)



●ライナー

掲載日：平成 24 年 9 月 14 日(金)

サイズ：全 4 段



●北海道新聞朝刊・旭川版

掲載日：平成 24 年 9 月 14 日(金)

サイズ：全 7 段

◆ 会場風景





◆ ま と め

今回で2回目の開催となる「旭川ものづくり博覧会」は、前回好評だった(平成21年・旭川商工会議所創立90周年記念事業)フェスティバル的な要素に加え、新たにビジネスに直接結び付くマッチング事業を大きなテーマに位置付けた。

初日の9月14日は、ビジネスマッチングの日として設定し、地元金融機関や中小企業支援団体と連携して、市内外の企業を招聘。結果としては来場企業が少なかったこと、招聘企業の業種に偏りがあったことなどから「満足」、「不満足」の評価に分かれる結果となったが、初回としては一定の効果を出せたのではないかとと思われる。

また、同日に行われた旭川工業高等専門学校4年生を招聘した地元企業への就職促進事業についても、初めての試みながら出展企業へ熱心に質問する学生が見受けられるなど予想以上に反応も良く、継続的に実施していく必要があると感じた。

翌日からの一般公開では、親子連れを中心に多くの来場者があり、旭川のものづくりをおおいにPRすることが出来た。それと同時に教育機関や試験研究機関と連携したステージイベントやものづくり体験を通して、子供達にもものづくりの楽しさ、素晴らしさを伝えることが出来たと確信している。

最後に総合的な評価としては、アンケート結果を見る限り及第点は越えているものの、ビジネスマッチングの来場企業数や多様な業種への対応、対企業に力を入れている出展者と対市民に力を入れている出展者との住み分け、対象エリアを旭川近郊だけでなく道北一円とするなど、次回開催を検討するにあたっては、寄せられた意見・要望を踏まえながら課題を解決していく必要がある。

旭川ものづくり博覧会 アンケート調査結果

調査目的：旭川ものづくり博覧会の総括並びに次期開催時の参考資料として実施

調査期間：平成 24 年 10 月 3 日～16 日

調査対象：出展企業・組合・団体 63 件

回答率：76.2%(48 件)

調査結果・まとめ

今回出展した企業の動機付については、市民向けのPRが97%、ビジネスマッチングは56%であった。

ビジネスマッチングについては、満足、やや満足とする企業が37%に対し、不満、やや不満とする企業は37%であった。

満足の理由は、新たな企業や団体、研究機関との繋がりができたが26%、商談は成立していないが今後の手応えを感じたが18%などであり、不満の理由は、来客が少なかったが26%、名刺交換程度で今後に繋がるものはなかったが18%などであった。

一方、市民向けの一般公開は、満足、やや満足が約70%を占めるなど高い評価を受けたことで、博覧会全体としては、満足、やや満足が65%との結果となった。

次回開催については、条件付を含め94%が開催を望む結果となった。

1. 基本調査

①御社・団体にとって、今回の博覧会出展の動機付け(目的)は何ですか？

ビジネスマッチング	56.3%(27 件)
市民向け PR	97.9%(47 件)

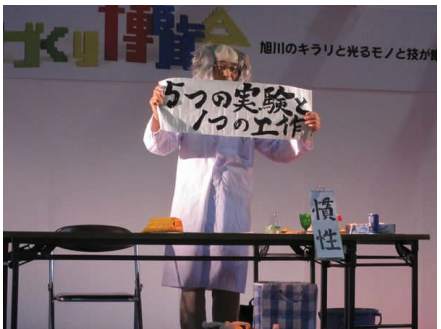
2. ビジネスマッチングについて

①今回のビジネスマッチングの満足度は？

満 足	3.7%(1件)
やや満足	33.3%(9件)
普 通	25.9%(7件)
やや不満	25.9%(7件)
不 満	11.1%(3件)

②満足度の理由は何ですか？[複数選択可]

商談が成立した	0.0%(0 件)
商談は成立していないが今後の手ごたえを感じた	18.5%(5 件)
新たな企業や団体、研究機関等から情報収集を行えた	14.8%(4 件)
新たな企業や団体、研究機関等との繋がりができた	25.9%(7 件)
テレビ、新聞への露出があり、PR に効果があった	11.1%(3 件)
事前に道内外へ配布したパンフの反響があった	0.0%(0 件)
学生に就職先としてのアピールをすることができた	7.4%(2 件)
来客は自社が必要とする業種ではなかった	11.1%(3 件)
名刺交換程度で、今後に繋がるものはなかった	18.5%(5 件)
来客も少なく名刺交換もあまりなかった	25.9%(7 件)



③旭川高専の学生を招聘した、地元企業への就職促進事業の感想をお聞かせください

地元企業のPRができ大変有意義な事業であった	3.7%(1件)
地元企業についてある程度理解してもらえた	40.8%(11件)
よくわからない	33.3%(9件)
その他	11.1%(3件)
無回答	11.1%(3件)

3. 一般公開について

①一般公開日の満足度をお聞かせください

満 足	21.3%(10件)
やや満足	48.9%(23件)
普 通	19.1%(9件)
やや不満	8.5%(4件)
不 満	2.2%(1件)

②満足度の理由は何ですか？[複数選択可]

来場者も多く十分アピールできた	63.8%(30件)
商品販売に結びついた(手ごたえを感じた)	12.8%(6件)
お客からの生の声や反応など情報収集に役立った	34.0%(16件)
来場者の客層(購買層)が違っていた	4.3%(2件)
来場者が多過ぎて十分な説明ができなかった	0.0%(0件)
その他	4.3%(2件)

4. 旭川ものづくり博覧会全般について

①旭川ものづくり博覧会全体を通した満足度をお答えください

満 足	18.8%(9件)
やや満足	45.7%(22件)
普 通	18.8%(9件)
やや不満	16.7%(8件)
不 満	0.0%(0件)

②次回開催についてどうお考えですか？

是非開催	60.4%(29件)
条件付で開催	33.3%(16件)
開催不要	0.0%(0件)
無回答	6.3%(3件)

③上記②を選択した理由をお聞かせください

【①是非開催】

- ・市民への情報発信の場としたい。
- ・一般の方に業界を知ってもらうことが出来る。
- ・子供達がものづくりに興味を持つきっかけとなったのではないかな。
- ・今後もバリアフリー研究所、障がい者スポーツを市民にPRしていきたい。
- ・開催自体は旭川の活性化になり良いと思う。
- ・PR活動やお客様からの生の声が聞ける。

- ・定期的に継続することで来場者に認知され、かつ出展企業間で良い刺激となる。
- ・自社を知っていただく良い機会。
- ・全産業の認知度向上。
- ・多くの方々に旭川のものづくり産業を知って頂く良い機会。
- ・旭川の活性化のため。
- ・地元での自社及び製品の PR の場として必要。
- ・旭川のものづくりは全国へそして世界へ。
- ・いろいろな情報が収集出来たので。
- ・PR 効果が高い。
- ・上川管内外にもっとものづくりについて PR する為。
- ・開催については、続けることが重要だと思う。
- ・企業 PR の場として期待。

[②条件付で開催]

- ・出展費用を安くしてほしい。
- ・来場者の範囲(ターゲット絞り)を明確に。
- ・出展企業がイベントとして取り組んでおり企業力の表現となっていない。
- ・もっと PR 方法を考えたい。
- ・会場規模が小さい。初回みたいに大きく。
- ・全国的にこのような企画で商談が成立することは皆無に近い。
- ・もっと多くの団体・研究機関が欲しい！少なすぎる。
- ・より幅広い業種、屋外での開催等。

④旭川ものづくり博覧会全体を通したご意見・ご感想、次期開催へのアドバイスをご記入ください

[①で“満足” “やや満足” “普通”と回答した企業]

- ・子供(小学校)が多かったことから、子供向け用の体験の場を考え参加したいと思う。
- ・地場産センター開催の方が良かったと感じた。アリーナより客が訪問している感じをうけた。
- ・次回は、バリアフリーなものづくりについて出展できるよう努力する。
- ・北海道を利用し、ものづくり博覧会の PR 促進をしてはどうか？
- ・子供達の来場が多かったのが印象的。将来を担う人達が旭川の産業を知るのに良いことだと思う。
- ・出展者の中にブース内で喫煙している人がいた。事務局にはルールを遵守するよう指導をお願いしたい。
- ・次回開催についても食べマルシェと同時開催が良い。
- ・マッチングにて良い情報収集が行えました、有難うございました。
- ・出展者も含んだ駐車スペースの確保。
- ・直接の商談は難しいとは思われるが、市民への理解を深めるためには重要な博覧会だと思う。
- ・多種のものづくり企業の製品・技術等の公開による新連携の可能性を見出せた。出展企業(業種)にかたよりがある。

- ・ 博覧会の方にマルシェの食事ができるテントを入れるともっと盛り上がったのではないかなと思う。
- ・ 食べマルシェとの同時開催はやめてほしい
- ・ ものづくりの業者をもっと集めるべき、当社は建築関係ですが、少なかったように思う。また、撤収の時間割を作り出展者に徹底させるべき。出展者の昼食をする場所を設定する必要あり。
- ・ 2F 特設ブースについて環境が厳しかったのが残念！音と室温と空調。
- ・ 旭川から全国、世界に飛び出していきそうなキャッチフレーズが必要。
- ・ 通路の確保、ブースの位置が悪い会社もあるので、人の流れる様な通路を考えてほしい。
- ・ 初日は特定者に限定していたため、出展者として来場者が少なく寂しく感じられた。同時開催の食べマルシェに比べ PR 不足だった様に感じた。食べ物に関するものづくりブースも多数あれば多くの来場者が見込めたのではと思った。
- ・ 紙器・段ボール産業の地元への紹介 PR 及び今後の有能な人の採用に役立てようと思う。
- ・ 初回(大雪アリーナ)に比べ、会場が狭い古い暑い
- ・ 食べマルシェとは別に開催した方が良いのでは？→食べマルシェの陰になった感有り。大雪アリーナでビックスケールで開催して欲しい→ビックイベント的インパクトが低下した感有り。5年に1回程度の開催でよいから、旭川のビックイベントとして定着すればと思います。
- ・ 大雪アリーナで開催した企画が良い。地場産は毎回イベントを開催しているので、盛り上がりには欠けると思う。もっとお祭りみたく盛大にするのも良いと思う。

[①で“やや不満”と回答した企業]

- ・ 真剣に「ものづくり」に取り組んでいる企業・団体と市民のイベントと考えている企業とが明確に分かれている。積極的な取り組み行う企業の会としていただきたい。
- ・ 当社は情報系の会社のため、客層が違い、満足な結果とまでは至りませんでしたが、旭川のものづくりに関する企業について再認識することが出来た。
- ・ 展示の規模が初回よりもずいぶん小さくなったのが残念。食べマルシェにぶつけるならクリスタル橋が開通してからの方が良かった。
- ・ どこもそうだが、主催者のマスターベーションに終始していることが多い、予算とエネルギーのムダ使いと思う。旭川商工会議所の本気度が極めて低いように思える。商談会など成功に導くために企画段階から参加経験企業(者)を加えて1年も2年も前から検討を重ねるべき、商売には人脈が大切なのでどこかの組織に偏るのはダメ
- ・ エアコンが無く、とても悪い条件であった。市外へのアピールはあったのでしょうか？情報が伝達されていない様です。